

同窓会報

創刊号

H23.2.20

発行責任者
奈良県立大学
同窓会

「新たな活動に全力投球」

奈良県立大学同窓会 第六代会長 久保憲司

全国の卒業生の皆さん
こんにちは。

本学が創設されて今年で五十八年目を迎え、このたび長年の懸案でありました「同窓会会報」を発行する運びとなりました。

昭和二十八年四月に開学された「奈良県立短期大学」が、先人の熱い思いとたゆまぬご努力によって、「奈良県立商科大学」を経て、昼間四年制の「奈良県立大学」として発展して参りました。

この間「勤労学徒に広く学術研究の道を開き、文化の進展と産業経済の発展に寄与する。」という建学精神の下に、五九〇〇名を越える優秀な人材を世に送り出して来ました。同窓会員のネットワークも大きく広がりを見せる中で、奈良県下三市の市長に本学卒業生が就任されるなど、各界各層で本学卒業生が活躍され

ておられますことは誠に喜ばしい限りであります。

一方、同窓会活動に目を移しますと「個人情報保護法」や「市町村合併」などによって、従来の「名簿管理中心」の同窓会活動は既に限界に達しています。

また、学生構成も「県内生中心」から「県外生中心」へと変化し、全国から学生を受け入れる今日では、同窓会の活動も新たな方向性が求められて来ました。

さらに「産学連携のサポ-



平成22年度総会での質疑

ト」や「在学生と地域社会との交流」など様々な面で「同窓会ネットワークの活用」に期待が寄せられています。こうした状況変化を背景に、

本年度総会において「役員体制の抜本的立て直し」と「新たな活動方針」が樹立され、本日、その第一ステップであります「会報」をお届けする

今後のご活躍に大いに期待」

奈良県立大学 学長 伊藤忠通

会報の第一号ということもあり、簡単に本学の沿革について触れておきます。

昭和二十八年に夜間課程の奈良県立短期大学として開学し、平成二年に夜間課程のみの四年制大学として奈良県立商科大学商学部が開設されました。

平成十三年に商学部を改組転換して地域創造学部が開設されるとともに、現在の奈良県立大学という名称に変更されましたが、形態は夜間学部のみままでした。

平成十九年度から昼間学部に移行し、現在の姿になりました。平成二十二年度は地域創造

こととなった次第です。

今後、年二回の発行を目標に、三年後の「開学六十周年記念総会」に向けて、役員一同全力を尽くして参ります。

会員各位のご健勝をお祈りしながら、一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。ご挨拶と致します。

学部開設十周年に当たり、平成二十二年十月六日には中国や韓国からもゲストをお招きして記念シンポジウムを開催しました。

同時に上海師範大学旅遊学院との学術交流協定も締結され、本学における国際化の第一歩を踏み出すことができました。

今年度の秋華祭(学園祭)に合わせて、平成二十二年十一月七日に奈良県立大学同窓会の総会が開催され、たくさんのお窓生の方々が母校を訪れて下さいました。

本学の前身である奈良県立短期大学、奈良県立商科大学の卒業生を含めると約六千名

に上る同窓生がおられます。平成二十五年は短期大学の開学から数えると六十周年に当たります。

本学は、その歴史の中で発展を続けてきましたが、在学生または卒業生の皆さんの活躍があつてのことです。

総会では、同窓会の組織を改め、新たな体制のもとで、会長をはじめ役員の方々が、「積極的に本学のためにご尽力下さる」との強い決意を伺いました。

同窓会組織の基盤づくり、会報の定期的発行、講演会や研修会の開催、在学生に対する研修支援活動等、具体的な事業計画も示されました。

また、平成二十五年の本学創立六十周年記念事業の実施に向けて準備も始めて下さいました。

大学としても設置者である県にお願ひして、本学が在学生や卒業生の皆さんに、そして地域の人々にも誇りに思っていただけのような大学になるよう教職員共々努力して参ります。

同窓会会員の皆様には、ご支援ご協力のほど何卒よろしくお願ひ申し上げます。

『事業部活動計画』

事業担当副会長

楠本雅章

平成二十三年度事業部の計画は次のとおりです。

一・ホームカミングデイ

短期大学卒業生・商科大学卒業生・県立大学卒業生および恩師の先生方が互いに交流を深める集いとして、大学内において十月に開催する。(六十周年記念事業とは別途に毎年開催を予定)

・講演会

講師は出来るだけ卒業生にお願いし、医療、福祉介護、年金、経済、就職等多くの卒業生が興味のある分野から選択する。

・卒業生の紹介

三分間スピーチで参加者に近況や事業紹介など自由にPRの場を提供。



秋華祭(学園祭)での模擬店

・模擬店

同窓会役員のほか希望があれば卒業生でプロの方も含めて模擬店を開設。

二・「地域」との関わりをもつ活動の推進

大学近隣を流れ、歌集にも詠まれている「佐保川」(かつては蛸も飛び交っていた)の環境保全への取り組みを地域の方々と共に行います。(清掃ボランティア 日程調整中)

三・「第一回 まほろば還暦軟式野球大会」を後援

平城遷都千三百年記念の平成二十三年十月十日〜十三日に平城遷都大極殿前広場で開催される六十歳以上の野球大会に後援団体として協力する。(奈良県立大学軟式野球部は第三十二回全国学生軟式野球選手権大会で準優勝を果たしています。)

『学部支援計画』

学部支援担当副会長

野口邦興

学部支援部では、卒業生のネットワークを活用した学外研修や各種講演会などを通じて、在学生の大学内における

授業・研究を地域レベルに広げる活動を展開します。

一・学外研修および学内講座

学外研修および学内講座は、いずれも地域創造学部の要請および在学生の要望内容を踏まえ実施するものとします。

・学外研修

- 年間三〜四回開催予定
- 一回目 五〜六月
- 二回目 八月
- 三回目 九〜十月
- 四回目 二〜三月

・学内講座

大学側と調整のうえ毎年一回開催する。(日程調整中)

二・同窓会報の発行

会報の発行は年間二回を基準とし、紙面およびホームページに掲載する。

内容は、同窓会の連絡事項や活動状況、行事・研修等の案内ならびに本学学長および教職員、学生、卒業生からの投稿文などを掲載する。

配布先は卒業生(初回のみ郵送。次回からは原則、ホームページに掲載。ただし、希望者には実費での郵送も検討する。)、および大学教職員、在学生とする。

発行者ならびに文責は同窓会長とする。

『総務部活動計画』

総務担当副会長

曲淵和子

総務部では同窓会全体の事務を総括し、「総会」「役員会」をはじめとする各種会議の運営に当たります。

また、財政ならびに「同窓会名簿」の管理を行うとともに、ホームページの運営管理を担当します。

一・財政計画

同窓会費(二十四年度から入会金一万円)のほか、寄付金等により財政を確立し、毎年一回、役員会の承認を経て決算および監査を行います。なお、行事ごとに参加費を徴収する場合は、担当部会で都度決算を行います。

二・名簿管理

同窓会の名簿はコンプライアンスに基づき管理し、個人情報流出等の事故が無いよう厳正に取り扱います。

三・ホームページの運営

ホームページでは「同窓会規約」「役員構成」のほか「総会ならびに各種行事の案内」「会員相互の連絡掲示板」同

お知らせ

・同窓会ならびに会報の愛称を募集します。結果は次号の会報でお知らせします。

・二十二年度 卒業式

三月十五日(火) 十時〜

・二十三年度 入学式

四月 五日(火) 十時〜

場所(いずれも)

奈良市春日野町一〇一

新公会堂 能楽ホール

(お問合せ先)

〒 六三〇・八五三〇

奈良市船橋町十番地

奈良県立大学内

奈良県立大学同窓会

「同窓会報」編集委員会

〇七四二・四六・四九七八

(電子メール)

npu_dousukai@yahoo.co.jp

(ホームページ)

<http://www.myvne.jp/>

npu.dousukai/

窓会報」など、同窓会活動の最新情報を掲載します。なお、ホームページから会員登録・住所変更が出来ます。末尾記載のアドレスおよびURLをご活用下さい。